

一般社団法人触媒学会 2025 年度事業報告

1. 会誌編集委員会

- ・「触媒」発行、第 67 巻（2025 年）第 2-6 号、第 68 巻（2026 年）第 1 号

2. 討論会委員会

- ・第 135 回触媒討論会（3 月 18-19 日、大阪大）
- ・第 136 回触媒討論会（9 月 17-19 日、東北大）

3. 企画・教育委員会

○学生・院生向け企画

- ・若手会第 36 回フレッシュマンゼミナール（5 月 24 日、横浜国立大、オンライン開催 + ZOOM ウェビナー）
- ・若手会「第 45 回夏の研修会」（7 月 30 日-8 月 1 日、アヤハレークサイドホテル（滋賀県））
- ・若手会「若手交流会 2025」（9 月 17 日、東北大）
- ・第 10 回企業研究者と学生の交流会（9 月 18 日、東北大）

○普及啓発活動

- ・サイエンスパーク 2025（北海道）および「青少年のための科学の祭典（奈良大会）」に出展

○若手研究者育成事業（60 周年記念事業）

- ・優秀講演賞（第 135 回触媒討論会） 受賞者 1 名
- ・学生優秀講演賞（第 135 回触媒討論会） 受賞者 1 名
- ・学生口頭発表賞（第 136 回触媒討論会） 受賞者 2 名
- ・若手海外渡航助成（若手触媒研究者に対し、国際会議への渡航費用を助成する）受給者 2 名

○触媒科学計測共同研究拠点「情報発信型国際シンポジウム」における招待講演候補者（若手研究者）審査

<研究会>

- ・各研究会は春秋の触媒討論会にセッション参加。独自事業を企画・実施。

○ファインケミカルズ合成触媒研究会

- ・触媒討論会セッション参加

○有機金属研究会

- ・第 52 回 Organometallic Seminar（10 月 31 日、北海道大）

○コンピュータの利用研究会

- ・令和 7 年度触媒学会コンピュータの利用研究会セミナー（12 月 4 日、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター）

○生体関連触媒研究会

- ・第 7 回二酸化炭素変換触媒研究会講演会（後援）（9 月 1 日、大阪大学医学・工学研究科東京ランチ）
- ・生体関連触媒研究会 2025 年度講演会（1 月 13 日、大

阪公立大学）

○界面分子変換研究会

- ・基礎講座「第 14 回表面化学チュートリアル」（11 月 7-8 日、東京大）

○高難度選択酸化反応研究会

- ・2025 年度高難度選択酸化反応研究会シンポジウム（1 月 13 日、東京大）

○水素の製造と利用のための触媒技術研究会

- ・2025 年度水素の製造と利用に関するシンポジウム（1 月 23 日、産業技術総合研究所 つくばセンター）

○天然ガス転換触媒研究会

- ・第 15 回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会（7 月 26 日、東北大）
- ・第 16 回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会（11 月 22 日、東京大）

○規則性多孔体研究会

- ・第 38 回規則性多孔体セミナー（10 月 20 日、東京科学大）
- ・第 39 回規則性多孔体セミナー（11 月 21 日、鳥取大）

○ナノ構造触媒研究会

- ・触媒討論会セッション参加

○燃料電池関連触媒研究会

- ・第 15 回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー（10 月 31 日-11 月 1 日、東レ総合研修センター（三島））

○光触媒研究会

- ・第 44 回光がかかわる触媒化学シンポジウム（6 月 13-14 日、東北大）

○環境触媒研究会

- ・触媒討論会セッション参加

○工業触媒研究会

- ・第 19 回工業触媒研究フォーラム（1 月 20 日、化学会館）
- ・第 15 回工業触媒研究会研修会、触媒劣化・触媒調製事例勉強会（6 月 20-21、福島）
- ・工業触媒ニュース（Industrial Catalyst News）を会員にメールで配信・Web 掲載（月 1 回）
- ・工業触媒劣化対策事例集、工業触媒調製事例集を研究会会員限定で Web 公開

○有機資源循環触媒研究会

- ・第 3 回有機資源循環触媒セミナー（6 月 27 日、産総研）

○固体酸塩基点の作用と設計研究会

- ・触媒討論会セッション参加

○二酸化炭素変換研究会

- ・第 7 回二酸化炭素変換触媒研究会講演会（9 月 1 日、大阪大）

- ・第8回二酸化炭素変換触媒研究会講演会、工場見学(11月19日、そうま IHI グリーンエネルギーセンター)
- ・環太平洋国際化学会議(Pacificchem 2025)セッションに参加

○先端放射光活用研究会

- ・第3回 先端放射光活用研究会「放射光が拓く触媒科学の発展」(1月19日、オンライン)

○元素循環に係る触媒技術のための超・研究会

- ・モノ連働型 MI 協業に関するワークショップ開催(7月8日、東京・3月19日、九州大)

4. 国際交流委員会

- ・The 20th Japan-Korea Symposium on Catalysis (20JKSC-2025) (2025年5月19-22日、鳥取)
- ・APCAT-10 (2025年8月4-7日、シンガポール)
- ・TOCAT10 (2026年8月18-23日、早稲田大) 開催準備
- ・3rd China-Japan Symposium on Catalysis (3rdCJCS) (2026年12月21-22日、関西大) 開催準備
- ・アジアポリオレフィン国際会議 2027 (APO2027) (2027年3月24-28日、金沢) 開催準備
- ・19th International Congress on Catalysis (ICC2028) (2028年6月25-30日、京都) 開催準備
- ・19th Taiwan-Japan Joint Symposium on Catalysis (第19回台日触媒シンポジウム、台湾) 開催準備

5. 出版委員会

- ・「触媒技術の動向と展望 2025」2025年4月10日発行

6. 経営・予算委員会

- ・会員増強、経営基盤強化の取り組み
- ・会員サービス充実策の継続検討
- ・学会の規約整備
- ・2025年度「触媒学会・触媒工業協会交流サロン」(共催)(12月5日、ワイム貸会議室 お茶の水)

○シニア懇談会

- ・シニア懇談会ニュースを毎月発行し、Webに掲載

7. 表彰委員会

- ・2025年度表彰として学会賞(学術部門)、奨励賞、功績賞の各受賞者の選考

8. 広報委員会

- ・ホームページ運営管理
- ・ホームページ運営支援(支部、研究会)
- ・メールマガジン発行継続

9. 参照触媒委員会

- ・参照触媒試料の配付継続、配布サンプルの拡充検討
- ・参照触媒ポータルの更新
- ・参照触媒委員会 Web ページの更新
- ・歴史的試料の展示・保管を北海道大学触媒科学研究所で継続
- ・参照触媒の広報活動

10. 職員人事・制度評価委員会

- ・学会規程の整備(出張旅費支給規程、会議費規程、事務局職員就業規則、職員給与内規)

11. 支部

○北海道支部

- ・2025年北の国触媒塾(基礎編)(5月17日、北海道大、ハイブリッド開催)
- ・International symposium of Institute for Catalysis 2025(7月10日、北海道大)
- ・第63回オーロラセミナー(7月13-14日、定山溪ビューホテル)
- ・日本化学会北海道支部2025年夏季研究発表会(共催)(7月19日、苫小牧高専)
- ・2025年北の国触媒塾(応用編)(10月11日、北海道大、ハイブリッド開催)
- ・苫小牧地区講演会(11月6日、苫小牧高専)
- ・札幌講演会(12月12日、北海道大、ハイブリッド開催)
- ・触媒学会北海道支部 特別シンポジウム 2025(12月9日、定山溪ビューホテル)
- ・札幌講演会(12月12日、北海道大、ハイブリッド開催)
- ・化学系学協会北海道支部2026年冬季研究発表会(共催)(1月20-21日、北海道大)

○東日本支部

- ・第36回キャタリシススクール(7月8-10日、東京大、一部オンライン開催)
- ・2025年度宇都宮地区講演会(12月19日、宇都宮大)
- ・2025年度つくば地区講演会(1月13日、産業技術総合研究所 つくば中央事業所)

○西日本支部

- ・第35回キャラクターゼーション講習会(6月27日、オンライン)
- ・第63回触媒研究懇談会(7月25-26日、島根)
- ・第19回触媒道場(9月2-3日、石川)
- ・第16回触媒科学研究発表会(11月4日、長崎大)

◎2024 年度 表彰選考部会名簿（理事会申し合わせにより、表彰委員会 表彰選考部会の名簿は当該表彰が行われた年の翌年に公表することになっています）

部会長：野村淳子（旧・東京工業大学、現・東京科学大学）

副部会長：窪田好浩（横浜国立大学）

委員：阿部竜（京都大学）、伊藤宏行（触媒工業協会・エヌ・イーケムキャット株式会社）、井上朋也（株式会社
中化学日本総合研究所）、永長久寛（九州大学）、菊地隆司（北海道大学）、清水史彦（三菱ケミカル株式会
社）、関根泰（早稲田大学）、福原長寿（静岡大学）、藤谷忠博（産業技術総合研究所）